

大阪府立千里青雲高等学校 平成 29 年度 第 1 回学校協議会 議事録

- 日 時 平成 29 年 6 月 16 日 (金) 15:30～17:00
- 出席者 会長（学識経験者）、学識経験者（高大連携大学）、保護者代表、
地域住民代表者、その他学校関係団体代表者
事務局（校長、教頭、事務長、首席、教育部長、教務部長、生徒指導部長、
1・2 学年主任）
- 内 容
- 1 校長挨拶
 - 2 委員紹介及び会長選出
 - 3 会長挨拶
 - 4 学校報告
 - ア) ＊学校協議会への意見書の提出
平成 29 年 2 月 3 日より平成 29 年 6 月 15 日まで なし
 - イ) 学校経営計画
 - ウ) 各学年
 - エ) 教育部 活動目標、取組内容、教育相談
 - オ) 教務部 11 期生カリキュラム、平成 29 年度行事予定、教科書選定
 - カ) 進路指導部 8 期生の進路報告
 - キ) 生徒指導部 遅刻数統計について
 - ク) 共生推進教室
 - ケ) 授業改善 授業力向上への取組について
 - 5 質疑応答・意見交換
 - 6 校長謝辞
 - 7 諸連絡
-

<質疑応答・意見交換> ○は委員からのコメント ⇒は事務局のコメント

○国際交流の新しい形を模索するとのことだが、具体的にはどのような形か？

⇒One Day Trip は基金の残額が少なくなり、今後同じ形態での実施（バス貸切）は不可能になるの
で、別途予算を確保するか、安価で実施できる方法を探っているところ。

○行事予定表では前後期制に見えるが、三学期制の区切りもある。どのような実情か？

⇒本校は三学期制であるが、前後期科目も一部残っている状態。前後期科目の考査は、放課後か最
終授業で実施することが多い。

○防災教育において、生徒たちが「ヒヤリマップ」を作成するのか？

⇒ボランティア部に何名かの生徒も加わって作成することを考えている。「地域の防災」という集
中講座もある。先日の避難訓練では、防火扉の前に荷物を置くことのないよう、生徒たちに呼び

掛けたところ。

○10期生が1年次に実施した1000字の作文は、全体にフィードバックしているのか？

⇒個人的な内容が書かれていたので、それは難しかった。生徒は「担任だけが読む」と思っていたようだ。

○ホームページや新聞に載せることを前提で書かせるのも一つの方法だと思う。

○ボランティア活動は、単なる無償の活動ではなく、学びが伴わなければならない。その点は、生徒たちにどのように伝えているのか？

⇒昨年度、ボランティア同好会顧問の呼び掛けで、東北ボランティア研修を実施した。被災地での聞き取りや、無償の支援で終わるのではなく、その後校内外で取組を発表したり、こども園の園児に震災のことを伝えたりすることを通じて、多くの学びを得ることができた。

○体育祭応援団の衣装作りのために、自宅に生徒たちが集まった。ミシンの使い方など、新しい経験ができたことを喜んでくれて、とても面白い経験だった。

○今は大人に体験が無いので、子どもに伝えることができなくなっている。

○学校での教育に加え、家庭の教育力があればこそ、生徒たちの成長の機会になっている。

⇒子どもの取組に対し、親が適度な距離感で関わることによって、自主性を育んでいると感じる。

○授業改善に向けた取組はとてもよいこと。今後も継続して取り組んでいただきたい。

⇒昨年度の取組で、授業見学が特別なものではなく、日常的に必要な取組であるという意識付けを図ることができた。今年度はICT活用推進委員会とも連携し、よりよい授業づくりをめざしたい。